

作って遊ぶ
—子どもの遊びと製作—

玉川大学 教育学部

たんぽ あやの
田甫綾野

製作活動とは？

- 幼稚園や保育所で製作活動というとどのようなことをイメージするでしょうか？

先生が準備したものを使ってみんなで同じものを作る



子ども一人ひとりが自分のイメージで好きな時間に
いろいろなものを作って遊ぶ

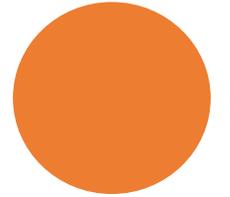
みんなで作る

- クラスのみんなで同じ経験を
する
- 年齢やそのクラスの状況に応
じた課題が考えられている
- クラスでの遊びや行事などに
使うものを作る



作る経験を共有

作ることの楽しさを経験



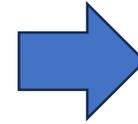
遊びに使うものを作る



どんなもの
を作るか？

材料は？

どんなふう
に作るか？



うなぎやさんを
作りたい



1つのごっこ遊びでも学び
につながることは多い。
「作る」ことは重要。

「作る」ことは
遊びの広がり、
遊びの深まりにつながる

製作物の意味は完成度ではない

- 作ること、遊ぶことに意味あるので、完成度だけが重要ではない
- それらしくする、本物に近づけることは遊びの深まりの中で出てくる
- 飾っておくものではなく、遊びの過程である

持ち帰ってきた製作物はどうしたら？

- 形が整っていたり、何を作ったか分かるものばかりではない。そういうモノは持って帰ってきた後どうしたら？
- 「モノ」自体ではなく、それを作った子どもの思いを読みとる
- 「モノ」から子どもの遊びの様子を想像する。

とっておく基準

1. 子どもにとってストーリー性のあるものかどうか？
2. 子ども自身が愛着をもっているかどうか？
3. 大人が意味を見出せるかどうか？

その時は「とっておく」と言っても時間が経つと「いらない」となることもあるので、子どもが納得して処分できるといいですね。